

## 「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」が表彰されました！

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」の活動が10年を迎え、多摩市における福祉増進に貢献した団体として、多摩市社会福祉協議会から表彰されました。今年は新型コロナウイルスの感染防止のため福祉大会は中止となってしまいましたが、後日、表彰状と記念品が贈られました。

～武内代表よりご挨拶～

きずなを支えてくださった地域の皆様と、事務局を担った社協の皆様のおかげで、今回の表彰となりました。

きずなは、自ら具体的活動を行うよりも、情報発信・情報共有の場、そして地域の顔見知りを増やす場となることで、自発的・自律的な取り組みが生まれ育つ地域づくりに貢献することを目指してきました。豊ヶ丘・貝取地域は市内でも、最もサロン活動が盛んな地域です。この間、地域の防災力・見守力、見守名簿と個人情報保護法等をテーマとして取り上げてきました。これからも、住み続けたい街づくりを支える場として、地域に必要とされる活動を続けていきます。



### ★2019年度の活動

#### 第1回全体会

2019.5.11(土)「地域の現状・各地域の防災の取り組みについて」

#### 第2回全体会

2019.7.13(土)「自治会・住宅管理組合連絡会」

#### 第3回全体会

2019.9.14(土)「防災と見守り①高齢者編」

#### 第4回全体会

2019.11.30(土)「防災と見守り②要配慮者の理解」

#### 第5回全体会

2020.1.18(土)「72時間ゲーム」

#### 第6回全体会

2020.3.14(土)「今年度の総括と次年度に向けて」※新型コロナウイルスの影響により中止

### ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」は、貝取と豊ヶ丘の地域に関わる活動をしている人々を結び、それぞれの経験・知識・情報を共有することによって、地域の様々な課題の解決を支援する誰でも参加可能なネットワークです。

**全体会(定例): 奇数月第2土曜日 10:00～12:00**  
貝取こぶし館ホール

※現在、新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせております。  
次回の開催につきましては約1カ月前に通知にてお知らせいたします。

## きずな通信 第3号

編集: ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな  
発行: 2020年4月  
事務局: 多摩市社会福祉協議会  
TEL 042-373-5616



～ここで暮らせる貝取・豊ヶ丘～明日につなげる地域づくり～



### 72時間ゲーム特集

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」では、これまで防災をテーマに「避難所運営ゲーム(HUG)」や「災害図上訓練(LODE)」など様々な取り組みを行ってきました。そのような中で、集合住宅の多い貝取・豊ヶ丘地域の実情に合わせた内容での取り組みの必要性を感じ、「72時間ゲーム」の作成に至りました。

「72時間ゲーム」は災害時に地域で起こりうる様々な出来事にどのように対応するかを、団地の集会所に集まってきた住民同士で考えるものです。今回のきずな通信では72時間ゲームを特集します。

# 72時間ゲームとは？

災害時、救出者の生存率は発災から72時間を境に大幅に低下すると言われています。警察や消防は人命救助が最優先となり、地域の住民同士の支え合いが重要になります。

「72時間ゲーム」は、発災後72時間の対応を経験し、ご近所同士のつながりづくりなどの日頃からできる備えの大切さや、貝取・豊ヶ丘の地域性に合った助け合いや見守りの進め方について改めて考えるためのツールとして、有志による検討会で作成したものです。令和元年度第5回全体会（令和2年1月18日（土）開催）で、地域の皆さんと実際に取り組みました。

## ① カードをもとに考えよう

グループのメンバーは、発災後に集会所に集まった同じ団地の住民です。次々と出されるカードをもとに、団地内の対応について検討していきます。

階段ごとに住民の安否確認をしよう

掲示板を作って情報を集約したらどうか？

### 【災害想定】

1月中旬の休日昼間に首都直下型地震が発生。多摩市では震度6強の揺れが起こった。  
 ・ライフラインは全てストップしている  
 ・その他の詳細は一切不明



カード例

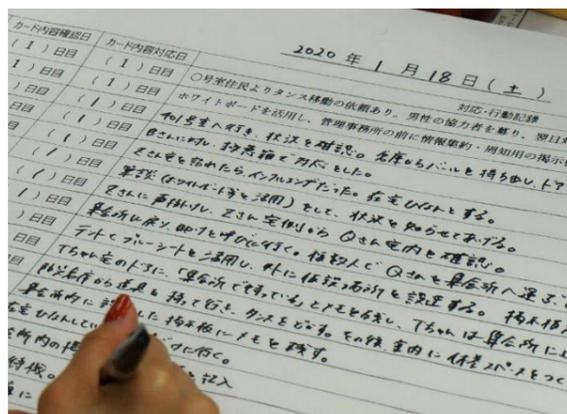
### イベントカード①

#### 【情報】

水道が使えない。  
 飲料水がなくなりそう。  
 トイレが使えない等の声も多数。

Aさん

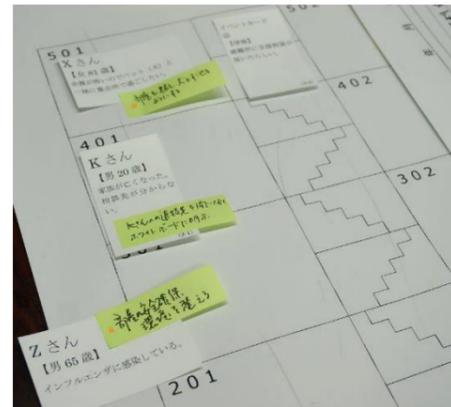
【79歳男性】201号室  
 401号室のQさんが見当たらない。あまり外出する人ではないので、家の中にはいるはず。



▲記録係を決め、話し合った内容を付箋紙やシートを使用して記録していきます

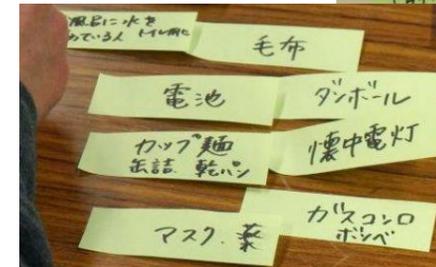
## ② 実際に動いてみよう

グループで検討した内容を踏まえ、団地内の様子を見に行ったり、集会所に掲示板を設置するなど、具体的な行動を考えます。

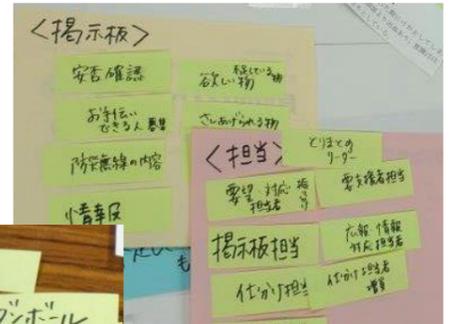


団地内（立面図）を見回りに行くと、新たな情報や住民からの相談が入ります

中心メンバーの役割が分かりやすいように、腕章やマークをつけてはどうか？



集会所に持ち寄るものをリストアップ



掲示板に掲載する内容や役割分担を整理

## ③ ふいかえり

終了後は、グループごとに振り返りを行い、工夫点や課題などを参加者全体で共有します。



同じカードでもグループによって対応方法は様々です！

## 参加者の声(当日の振り返り・アンケートより)

- 円滑な対応のためには、結局日頃のつながりが必要なのだと体感でき、良い機会となりました。72時間ゲームを自分の団地内でも実施していきたいです。
- 次々とカードが出てきても、前のカードが終わらないまま…。実際の災害時はもっと混乱すると思いますが、迅速に判断することや事前に想定を行い、備えておくことの重要性が分かりました。
- 色々な人と話し合っていく中で、意見・アイデアが集まりおもしろかったです。

## ～みなさんも「72時間ゲーム」を体験してみませんか？～

「ネットワーク貝取・豊ヶ丘きずな」では、72時間ゲームの取り組みを今回で終了にせず、参加者の意見を参考に改良していきたいと考えています。日頃からの見守りやいざという時ための備えについて住民同士で考えるきっかけづくりとして、みなさんも72時間ゲームを体験してみませんか？  
 詳細は、事務局（多摩市社会福祉協議会 ☎373-5616）までお問合せください。